

大使館情報

2021年4月

【目次】

1. ブラジル・マクロ経済情勢

- (1) 経済情勢
- (2) 経済政策
- (3) 中銀の金融政策等
- (4) 為替市場
- (5) 株式市場

2. ブラジル政治情勢

[内政]

- (1) 新型コロナウイルス感染症関連
- (2) ルーラ元大統領に対する有罪判決の無効化決定
- (3) ボルソナーロ政権の支持率
- (4) 閣僚の交代

[外交]

- (1) アラウージョ外務大臣（当時）による対外政策の総括
- (2) アラウージョ外務大臣（当時）のイスラエル訪問
- (3) 伯産アルミニウムの対米輸出に係る補助金に関する調査の終了
- (4) 伯米間の環境協力協定に向けた会合の実施
- (5) アセベド・パラグアイ外務大臣の訪伯
- (6) ボルソナーロ大統領によるメルコスール首脳会合への出席

3. トピックス

- (1) AIに関するウェビナーの実施
- (2) 令和元年度草の根・人間の安全保障無償資金協力の報告式（在サンパウロ総）
- (3) 伯日議連及びブラジル日本商工会議所とのブラジル税制の課題に係る意見交換会
- (4) ブラジル日本研究国際学会への出席
- (5) 日本の新型コロナウイルス対策広報動画発信（在リオデジャネイロ総）

4. 大使館からのお知らせ

- (1) 文化イベント
- (2) 外務省海外安全ホームページ
- (3) ブラジル渡航情報

1. ブラジル・マクロ経済情勢

(1) 経済情勢（3月発表の経済指標）

- (ア) 伯中央銀行が週次で発表しているエコノミスト等への調査（Focus 調査）に関して、3月26日時点で、GDP成長率予測については、2021年は3.18%で前週より0.04%減少し、2022年は2.34%で先週より0.05%減少した。インフレ率については、2021年は4.81%で前週から0.1%上昇、2022年は3.51%で前週と変わらず。
- (イ) 1月の鉱工業生産指数は、前月比+0.4%で9カ月連続の増加を記録。前年同月比も+2.0%を記録した。
- (ウ) 1月の小売売上高は前月比▲0.2%、前年同月比▲0.3%を記録した。
- (エ) 全国の失業率（2020年11月～2021年1月）は14.2%となり、8～10月の移動平均14.3%より0.1%改善。前年同期比（2020年11～2021年1月）で3.0%上昇した。
- (オ) 2月の拡大消費者物価指数（IPCA）は0.86%となり、前月の0.25%から0.61%増加。直近12カ月累計は5.20%となった。
- (カ) 2021年2月の貿易収支は11.5億ドルの黒字。2021年1～2月の累計は1.66億ドルの黒字。

(2) 経済政策等

- (ア) 2020年のGDP成長率（四半期累積）は▲4.1%となり、1996年以降最低の成長率を記録した。伯経済省は2021年のGDP成長率は+3.2%、2022年は+2.5%と予測。
- (イ) 2020年に引き続き、低所得層に対する緊急給付金を認める法律が議会で承認された。基本支給額は250リアル/回で4月から4回にわたり支給される予定。
- (ウ) 2021年連邦政府予算が3月25日に議会で承認され、3月26日にボルソナロ大統領に裁可された。その後、義務的歳出総額が歳出上限を上回ることが判明し、政府・議会間で調整が行われている。

(3) 金融政策

3月17日、伯中央銀行金融政策委員会（Copom）は、政策金利（Selic）を年率2.0%から2.75%へ引き上げることで全会一致した。政策金利引き上げは2015年7月以来、約5年半ぶりとなる。次回金融政策委員会は5月4日及び5日。

(4) 為替市場

- (ア) 3月の為替市場は5.47～5.88 レアル/ドルで推移。
- (イ) 月の前半は5.53～5.87 レアル/ドルで推移。ルーラ元大統領の第一審の裁判官権限を最高裁が否定したことを嫌気しレアル安へ進むも、緊急憲法修正案の承認及び税制改革の進展期待を受けてレアルが買い戻された。
- (ウ) 月の後半は5.49～5.78 レアル/ドルで推移。新型コロナウイルス対策による経済活動停滞等を懸念しレアル安が進むも、米国大統領のインフラ投資発言を好感し、レアルが買い戻された。

(5) 株式市場

- (ア) 3月の株式市場は110,334～116,633 ポイントで推移。
- (イ) 月の前半はルーラ元大統領の大統領選出馬の可能性、保健大臣の交代等の内政要因や米国の追加経済政策等外部要因で上げ下げを繰り返す展開。
- (ウ) 月の後半は国内でのワクチン接種の遅延や更なる財政支出の可能性等を嫌気し、112,000 ポイント台まで値を下げたが、それ以降は中国景気への期待や米国のインフラ投資への期待から116,000 ポイント台まで上昇した。

2. ブラジル政治情勢（3月の出来事）

[内政]

(1) 新型コロナウイルス感染症関連

- (ア) 12日、財政緊急事態に関する憲法修正案（PEC Emergencial）が連邦下院において可決され、同修正案が成立した。これにより、連邦政府は、歳出上限に抵触することなく、最大440億レアルの予算を新型コロナ対策緊急給付金向けに執行することが可能となった。18日、ボルソナーロ大統領は、第二弾となる新型コロナ対策緊急給付金の支給を可能にする旨の暫定措置令を発出した（26日付官報に記載）。これに伴い、低所得層の非正規雇用者及びボルサ・ファミリア受給者を対象とし、1家族あたり月額標準250レアルの給付金が4回にわたって支給される。
- (イ) 18日、マジョール・オリンピオ上院議員（PSL）が新型コロナウイルス感染症により死去した。新型コロナ感染症が原因で死亡した連邦議員は3名となった（全て上院議員）。
- (ウ) 24日、ボルソナーロ大統領は、大統領官邸における三権の長、連邦政府閣僚及び各知事による会合の後、新型コロナ対策委員会を設立する旨発表した。同大統領によれば、同委員会は新型コロナ禍対策の手段を決定するため、連邦議会と連携し、パシェコ上院議長（DEM）が委員長を務める。25日、ボルソナーロ大統領は、新型コロナ対策委員会の設立に関する大統領令に署名し

た。31日、ボルソナーロ大統領、上下両院議長及びケイローガ保健大臣により、第1回新型コロナ対策委員会が開催された。

(2) ルーラ元大統領に対する有罪判決の無効化決定

(ア) 8日、ファキン連邦最高裁判所 (STF) 判事は、クリチバ市に所在する第13連邦裁判所 (第1審) がルーラ元大統領に下したラヴァ・ジャット関連の公判にかかる2件の有罪判決を無効化する旨言い渡した。同判事は、右2件に加えて計4件の汚職事件にかかる裁判管轄権は第13連邦裁にないものと判断し、今後の公判はブラジル連邦裁判所においてやり直しとなる旨決定した由。

(イ) 12日、連邦検察庁が上記決定につき STF に上訴。

(ウ) 25日、STF は本件にかかる大法廷審理 4月14日に設定した。

(3) ボルソナーロ政権の支持率

16日、ダッタフォーリャ社による世論調査の結果が発表されたところ、政権支持率は30% (前回調査: 31%) を記録し、不支持率は44% (前回調査: 40%) に上昇した。

(4) 閣僚の交代

(ア) 23日、パズエーロ保健大臣が解任され、医師のマルセロ・ケイローガ氏 (伯心臓病学会会長) が新保健大臣に就任した。

(イ) 29日、ボルソナーロ大統領は6ポストにかかる閣僚交代を公表したところ、以下のとおり。

大統領府・文官長: ルイス・エドゥアルド・ラモス 大統領府政府調整庁長官

法務・治安大臣: アンデルソン・トーレス 連邦区公安局長

国防大臣: ヴァルテル・ブラガ・ネット 大統領府文官長

外務大臣: カルロス・フランサ 大統領特別補佐官

大統領府・政府調整庁長官: フラヴィア・アフード 下院議員 (PL: 自由党)

連邦総弁護庁長官: アンドレ・メンドンサ 法務・治安大臣

[外交]

(1) アラウージョ外務大臣 (当時) による対外政策の総括

2日、アラウージョ外相 (当時) は、各種貿易協定交渉等、この2年間の伯外務省の対外経済政策を総括し、引き続き対外経済開放を推進していく姿勢を示すとともに、メルコスールの柔軟化の必要性等に言及した。

(2) アラウージョ外務大臣（当時）のイスラエル訪問

7～9日、アラウージョ外相（当時）を団長とする伯代表団がイスラエルを訪問した。アラウージョ外相（当時）は、同国との政治および科学技術に関する対話促進を目的とし、7日にアシュケナジー・イスラエル外相との会談を行い、8日にネタニヤフ首相への表敬訪問等を行った。

(3) 伯産アルミニウムの対米輸出に係る補助金に関する調査の終了

10日、伯外務省及び経済省は、伯産アルミニウムの対米輸出に係る補助金に関する調査を終了した旨の合同プレスリリースを発出した。同プレスリリースによれば、伯政府が監視してきた米国への伯産アルミニウム合金板の輸出におけるアンチダンピング、補助金及び補償措置につき、国産品に追加料金を課すことなく補助金及び相殺措置の調査が終了した。また、同プレスリリースには、伯政府が同製品に対するアンチダンピング調査の監視を継続する旨記載。

(4) 伯米間の環境協力協定に向けた会合の実施

9日、サレス環境大臣は、森林伐採及び気候変動対策の分野における米国との協力協定に関する交渉を前進させるため、米国政府の代表団との会議に参加した。

(5) アセベド・パラグアイ外務大臣の訪伯

16日、アラウージョ外相（当時）は、ブラジリアを訪問中のアセベド・パラグアイ外相と会談を行った。同パラグアイ外相は、アラウージョ外相（当時）に対し、新型コロナウイルス感染症ワクチンの無償供与を要請した。

(6) ボルソナーロ大統領によるメルコスール首脳会合への出席

26日、ボルソナーロ大統領は、メルコスール発足30周年を祝うオンライン首脳会談に参加した。同大統領は、メルコスールの枠組みは加盟国に良い結果をもたらし、ダイナミズムの回復のため、本枠組みの近代化を擁護すると述べた。

3. トピックス

(1) AIに関するウェビナーの実施

2日、在ブラジル大使館はブラジル科学技術革新省と共催で「AIに関するウェビナー」を実施した。山田大使及びジョゼ・グスターボ科学技術革新省起業イノベーション副次官が出席し挨拶した他、「ウィズコロナ・ポストコロナにおけるAI技術の可能性とAI活用を通じた産業・社会への影響」をテーマに、日本側

からは松尾豊東京大学大学院工学系研究科人工物工学研究センター教授が、ブラジル側からはノルベルト・アルベス・フェレイラ教授がそれぞれ講演を行った。

山田大使の挨拶及びウェビナー動画は、以下に掲載している。

https://www.br.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_000001_00334.html

(2) 令和元年度草の根・人間の安全保障無償資金協力の報告式(在サンパウロ総)

9日、桑名在サンパウロ総領事はオンラインにて、アラサツーバ市に所在する「障害者擁護団体ヒッチーニャ・プラッテス」が主催する令和元年度草の根・人間の安全保障無償資金協力の報告式に出席した。式典には、同団体のバルボーザ理事長の他、当地の日系社会から、本田ヒデト・アラサツーバ日伯文化協会会長、白石一資・同副会長が出席した。

- ・ 案件名：アラサツーバ市精神病院マイクロバス整備計画
- ・ 供与限度額：88,491米ドル(伯貨：315,030レアル)
- ・ 本計画では、障害者擁護団体ヒッチーニャ・プラッテスに対し、入院患者の外部診療やセラピー等への参加機会の増加を目的として、車椅子昇降付きマイクロバス1台(車椅子6台収容)を供与した。



写真(左)は左から
ヴァニウダ・マリア・バルボーザ・ヒッチーニャ・プラッテス理事長
オスカル・ファリア・ラモス・ヒッチーニャ・プラッテス法律顧問
白石一資・アラサツーバ日伯文化協会副会長
本田ヒデト・アラサツーバ日伯文化協会会長

(3) 伯日議連及びブラジル日本商工会議所とのブラジル税制の課題に係る意見交換会

17日、山田大使は、伯日議連のルイス・ニシモリ議員、ヴィトール・リッピ議員、キン・カタギリ議員及びブラジル日本商工会議所とオンラインで、日本企業が抱えるブラジル税制の課題について意見交換を行った。議員からは「ブラジル・コスト」削減のための税制改革の重要性や議会での税制改革の進捗状況等について発言があり、大変有意義な意見交換の機会となった。



(4) ブラジル日本研究国際学会への出席

17～19日、ブラジリア連邦大学の主催により、第13回ブラジル日本研究国際学会及び第26回全伯日本語・日本文学・日本文化大学教師学会がオンラインで開催され、開会式では、山田大使が挨拶を行った。

また、招待パネル（標題「変化する国際環境の中の日伯関係」）に当館高橋専門調査員がパネリストとして参加し、近年の日伯関係について報告した上、子安昭子教授（上智大学）及び舩方周一郎特任講師（東京外国語大学）とともに今後の日伯関係について討論した。



学会の動画は、以下に公開している。

https://www.br.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_000001_00351.html

(5) 日本の新型コロナウイルス対策広報動画発信（在リオデジャネイロ総領事館）

29日、在リオデジャネイロ総領事館はドラゴンボールシリーズの孫悟空の声優を務める人気ユーチューバー、ウェンデル・ベゼッハ氏協力の下、日本へのバーチャル旅行を通じて、日本における新型コロナウイルス感染対策、コロナ禍で活用される科学技術、日本文化を紹介する動画を発信した。



動画リンク：<https://youtu.be/OhjoREOA00s>

4. 大使館からのお知らせ

(1) 文化イベント

(ア) Instagram 定期配信事業「日本を一枚絵」(国際交流基金)

日時：4月1日～4月16日(毎週月・金曜日)

サイト：[国際交流基金サンパウロ日本文化センターHP](#)

[国際交流基金サンパウロ日本文化センターInstagram](#)

内容：曜日毎に日本文化に関連するテーマを定め、そのテーマに沿った写真をInstagramに掲載していく事業。

(イ) 「World Creativity Day」オンライン事業(国際交流基金)

日時：4月21日(水)、22日(木)

サイト：<https://www.worldcreativityday.com/brazil/>

内容：持続可能な発展をテーマとした、オンラインコンテンツ配信事業で、今年は、世界121都市から1,200ものコンテンツが集結。日本からはKANJIMONと坂東功氏が出演。

(ウ) 「STAGE BEYOND BORDERS - Selection of Japanese Performances」舞台公演オンライン配信事業

日時：4月中不定期

サイト：<https://www.jpf.go.jp/e/>

内容：国際交流基金が厳選した日本の優れた舞台公演を、国境を越えて発信していく国際交流基金本部の主催事業。

(エ) Tradução em foco (国際交流基金)

日時 : 4月上中旬予定

サイト : [国際交流基金サンパウロ日本文化センターHP](#)

内容 : ブラジルで活躍する日本文学等の翻訳者の活動を紹介するエッセーシリーズ。

(オ) Destaques da biblioteca (国際交流基金)

日時 : 4月下旬予定

サイト : [国際交流基金サンパウロ日本文化センターHP](#)

内容 : 国際交流基金サンパウロ日本文化センターに収蔵されている図書資料等を紹介する事業。

(2) 外務省 海外安全ホームページ

(ア) 各国の危険情報や安全対策等海外赴任、出張及び旅行をする際の留意点を公開している。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

(イ) 世界各国の在外邦人に対して最低限必要な安全対策を周知することを目的にした「ゴルゴ13の中堅・中小企業向け海外安全対策マニュアル」を公開している。2021年3月、新型コロナウイルス感染症の感染症とテロといった複合的なリスクへの対処の必要性を伝えるため、番外編として「感染症流行下の安全対策」を追加する増補版を公開した。

https://www.anzen.mofa.go.jp/anzen_info/golgo13xgaimusho.html

(ウ) 各在伯公館が「在外邦人向け安全の手引き ブラジル」を作成し公開している。2021年3月に在マナウス総が改訂した。

https://www.anzen.mofa.go.jp/manual/brazil_manual.html

(エ) 各公館で四半期毎に「海外安全対策情報」を公開している。在伯大使館の情報は以下のとおり。

https://www.br.emb-japan.go.jp/itpr_ja/kaigai_zen_taisaku.html

(3) ブラジル渡航情報

(ア) 危険情報

最新更新日 : 2020年6月25日

http://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcinfectionsbothazardinfo_259.html

以下の地域が「レベル1 : 十分注意してください。」となっている。

- ・ブラジリア連邦区
- ・サンパウロ州大サンパウロ圏及びカンピーナス市

- ・リオデジャネイロ州大リオ圏
- ・アマゾナス州大マナウス圏
- ・ロライマ州北部
- ・パラ州大ベレン圏
- ・ペルナンブコ州大レシフェ圏
- ・バイア州大サルバドール圏
- ・セアラ州大フォルタレーザ圏
- ・エスピリトサント州大ビトリア圏
- ・パラナ州大クリチバ圏
- ・リオ・グランデ・ド・スル州ポルトアレグレ市

(イ) 安全対策基礎データ

最新更新日：2020年8月6日

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure_259.html

主要各州、都市毎の犯罪発生状況、防犯対策及び滞在時の留意事項等に加え、査証、出入国審査や大使館、総領事館の緊急連絡先を公開している。

(ウ) テロ・誘拐情勢

最新更新日：2019年6月10日

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_259.html